

百貨同業奮い立つ 百貨同業会

会員相互の緊密な連絡親睦を図ると共に各社の企業向上発展に寄与し強力に近代化合理化を促進することを目的に、去る42年3月2日会員商社53社（繊維同業会商社を除く）をもって賑々しく創立総会を開催した。百貨同業会は総務、厚生、事業各委員会に全商社が各々所属し活発な活動を開始したが、協同組合問屋センターの機構充実と、事務職員の完備に伴い事業の重複を避け、合理化のため事業活動は3年計りで休止していたが、昨今の厳しい経済情勢下、各社の業績進展を更に強化するため、百貨なりの情報交換と経営の

見直し時代に対処し、此の際問屋センターに存在するメリットを、更に開発せんものと先般来、役員有志協議中のところ、其の後センター新加入百貨業者30数社の、加入諒承を得て来る5月末頃総会開催の運びに立至り、目下役員全員各分担を受持ち、大張切りの状況で総会には役員も改選強化、されると聞いており、其の後の事業活動開始を今から期待してやみません。そして百貨同業会の発展を本当に、心からお祈りするものである。

協同組合
金沢問屋センター
告知板

理事会報告

▷1月

19日 故吉野吾氏顕彰碑に外周柵を設置する

▷2月

4日 郵便料金値上げにもなう通信費増に対処する為、会館内に各社私書箱設置を検討
共同駐車場に融雪装置設置を検討

18日 組合として私書箱設置については検討の余地がある為、とりあえず繊維同業会が設置する旨寺井会長報告
近代化研究会が4月29日～5月9日迄アメリカ流通機構視察を計画しており、会員以外の参加を要望

▷3月

8日 事務局、長田長作経

理部長定年対職にともしない後任に、北国銀行検査役中川勘平氏を採用する
組合員石川新菱自動車輦が脱退し、エンバイヤ自動車輦が加入することを承認した

事務局だより

▷1月

16日 近代化研究会1月定例会開催
21日 近代化研究会アメリカ流通機構視察について検討

22日 総務委員会組合運営について協議

23日 問屋町交通安全対策協議会

51年交通安全推進目標及び共同駐車場融雪装置設置について検討

▷2月

3日 問屋町交通安全対策協議会

交通安全資料配布

7日 近代化研究会幹事会

2月定例会、アメリカ視

察について検討

10日 労務委員会
労務改善補助事業終了と今後の事業方針について協議

12日 女子社員研修会
県社会教育センター副館長、道端孫左衛門氏を講師に迎え「職業人としての女子の生きかた」を勉強

14日 広報委員会
第4号誌発刊について協議

16日 建設委員会
51年度事業と予算案について審議

16日 近代化研究会
2月定例会開催、アサヒ装設社社長山本基宗氏を講師に迎え「最近考えること」を勉強

19日 企画開発委員会
総合ビル建設について協議

▷3月

9日 労務委員会
新入社員歓迎式と研修会

について協議

10日 問屋町交通安全対策協議会
県公安委員会へ事故多発交差点へ一時停止標式設置の申請書提出

11日 総務委員会
新規加入組合員について協議

15日 建設委員会
共同施設の補修と第二団地駐車場フェンス工事について協議

18日 企画開発委員会
総合ビル建設について協議

24日 近代化研究会
アメリカ流通機構視察の勉強会開催

26日 広報委員会
第4号誌及び第5号誌発刊について協議

29日 厚生委員会
51年度事業計画と予算案について協議

協同組合 金沢問屋センター

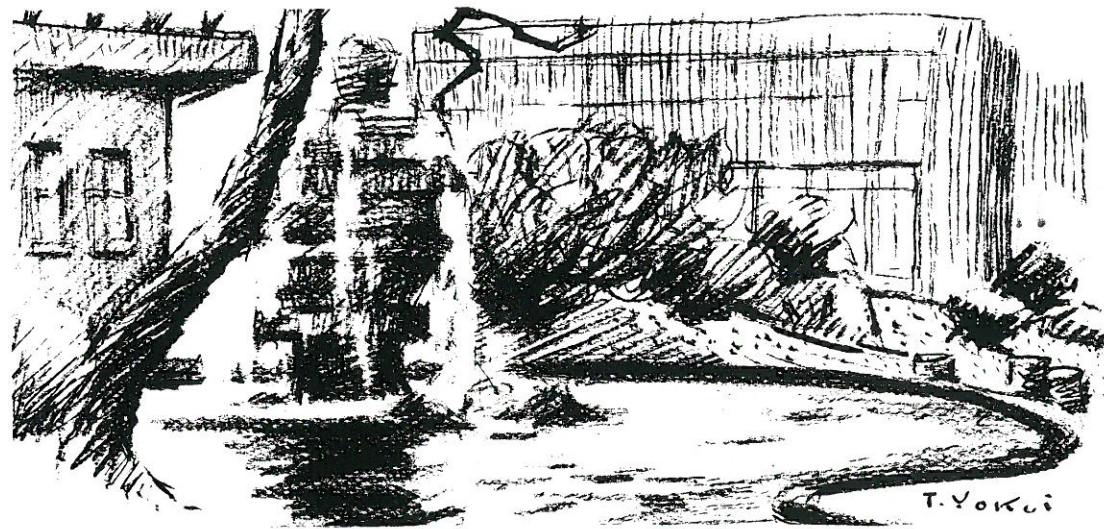
第4号 1976年4月10日発行

協同組合 金沢問屋センター

発行者 小川 基次郎

金沢市問屋町1丁目

電話 37-8585



人生にリハーサルはない

今年こそはと人生の幸せを目指し、それぞれ若い力に希望や夢を抱きながら、社会人として就職し、或いは2人が人生の門出、結婚の年でもある人もあるでしょう。このように考えて見ると、若い皆さんはこれからの新しい生活の今スタートラインにあるわけです。しかもそれは同時に社会人として又人間として、真の幸せをつかむことのできる可能性をしっかりと手にすることの出来る第1歩でもある訳です。しかし私達の人生は国家、社会、家庭や職場など色々な集団の中で生活をしているわけです。私達1人1人の幸せは、これらの集団と密接な関係があり国家、社会が平和で安定していれば個人の生活も安定した基盤の上にあると言えるでしょう。

社会が乱れたなら、個人の生活も又不安定に成ります。その団体又は集団がしっかりしているためには、秩序統一が必要になり、その集団を構成する人間1人1人がそれぞれの役割を最善をもって果たすことが大切です。人間とは人と人の間にこそ生かされているのであり家庭と言う共同生活、社会と言う団体生活の中にあるが故、相手に対し思いやり又社会に対しても感謝の精神をもち、対人間関係を円満な人格と謙虚な心づかいを持って、調和と協調を心としてお互いに助け合っていく処に、人生の楽園がある訳です。例えば野球やその他のスポーツ競技のように、それぞれの役割を果たすためには、即ち強力なチームワークが必要である。国家社会も家庭も職場も同じように共通して守るべき色々とルールがあります。国には法律があり、会社には規則があり、家庭にはそれぞれの家風や、慣習があるように私達はそれらの法律や、規則、慣習に従い、守って行かねばならぬ義務がある訳です。もし私達が集団の中で自分だけの利害、欲望に基づき好き嫌いの行動をしたなら、集団の秩序は乱れ、規則は崩れて個人の生活も破壊されます。

交通法規を考えても自動車は左側、人は右側の進行法規があり、交差点には信号があり、走行には速度制限があるように、その他多くの交通法規があります。1度や2度位いと小さなルール違反、法規無視が習慣となって、ついには大きな取り返しの利かない人身事故を引き起すのではないのでしょうか。職場にあっても、同僚に対し話しかける言葉と上役に対する言葉使いを混同すると、自然と秩序が乱れついには規律も保てなくなります。

このようなささいな言葉のマナーなどを守ることは、集団生活を送るための最低の条件です。私達が如何に円満な家庭を営んでも、又どんなに働きがいのある職場にいても、国の秩序統一が失われたら政治、経済などは混乱し法律はあっても守られず、社会生活のルールは全く無視され戦前、戦後のような弱肉、強食の混乱社会の復活に至ることでしょう。

私達個人又は家庭の幸せは国家と言う大きな傘の基に保護を受けているのですが、国を離れて私達の社会生活も成り立たないのであります。

故阪急の創立者小林一三翁の言葉に、人間関係には「三合」が必要だと言われ、人間はお互いに欠点があり完璧と云う人は1人もいない。それを許し合い、助け合い、譲り合いと云うところに、円満な社会生活が築かれそして1人1人の人間性が育って行くのであるといわれたのです。最後に一言、ものごとには本番に備えてリハーサルが行われるのが常ですが、人生はいつでも本番であり後戻りは利かないのでもあります。

小 阪 康 生 記

日本経済と景気の見通し

齊藤 栄三郎



8～9月に景気回復

自己資本の充実を図れ

2月13日(金) 午前11時より
於 問屋町会館 2階ホール

本論に入ります前に、私ごとで恐縮ですが、昨年の参議院選挙の時には、皆さま方に物心両面にわたり大変ご支援を賜わり、遅くなりましたが厚くお礼申し上げます。いま、商工委員と物価対策特別委員会理事をやっております。自民党内では金融問題調査会の副会長、独禁法改正委員会の委員、税制調査会では付加価値税の問題をやっていますが、その委員をしています。国会開会中は外へ出られない。土曜日、日曜日に地方へ出ますが、全国区なのでこちらへ来る事が出来て、非常にお世話になりながら申し訳ないと思っております。

この前、講演に来た時、この団地が大変うまくいっていることを聞き、尊敬をもってこの団地をみていますが、ただいまも非常にうまくいっていることを小川理事長から承りまして、誠におめでとう存じます。

本日は、(1)、景気の見通し、そのために①輸出②予算③金融④春闘の材料を分析。(2)ロッキード事件で日本はどう変わるか。(3)安定成長下の経営(4)土地問題の解決、株、金の問題——について語りたい。

昨年1年間に、三木内閣は金融対策として、公定歩合を3回下げて、日本の公定歩合は現在6.5%で、ずいぶん安くなったが景気は直らない。これは国内で過剰在庫が20兆円あるからで、日本の国民総生産は160兆円ある。約15%の過剰在庫があるから大変なものです。だから消費者は宣伝しても乗ってこない。昭

和初期の不況の時は、金がなかったから購買力がなかった。いまは金がある。国民1世帯当たり260万円の預貯金があり、収入の中から25%も貯蓄に回している。金がないから不景気なのではなく、金があるけれども使わない。今回の不況の大きな特色です。

20兆円の過剰在庫を解決しなければ景気は直らない。そのためには輸出を伸ばさなければならない。それなのに政府は、金融を締めて不景気になったのだから金融を弛めればよくなるというが、これは考え方が甘い。結局、今年になって輸出振興による過剰在庫減らしをしなければだめだという結論になった。

いま、アメリカの景気がよくなってきているために、日本の輸出が伸びている。私は昨年、2カ月にわたってアメリカへ行ってきた。今年も8月2日から2週間行きますが、昨年は驚いた。ヒルトンホテルに泊ったが室に入ると壁に貼紙がしてあり、「当ホテルではお客様の生命、財産の安全を保証しない」とある。なぜそうなるかという、その時、失業者は800万人。ピストルが野放しになっているから1年間に250万丁のピストルが売られている。全米で4千万丁のピストルがあるからこれを持出してやる。さらに、麻薬が野放しになっている。

こうしたことで非常に治安が悪くて、夜9時、10時すぎには外出できない。殺されても警察は来ません。フォード大統領は治安をよくするためには、景気によ

くする以外にないと考えて、1年間に228億ドルの減税をした。実に、6兆4千億円です。しかも税務署の窓口で、「これはあなたの減税分ですよ」と返してやる。次第に大衆の購買力が動き、日本からの輸出も伸びている。とくに伸びているのは、自動車、カメラ、テレビ、ラジオです。

アメリカの西海岸は日本の自動車の氾濫です。ガソリン値が4倍に上がったので、ガソリンを食わない、しかも1ドルでも安い車が欲しいので日本の車が売れる。カメラもサウンド付8ミリカメラが売れてアメリカでも奪い合いです。日本のテレビ、ラジオメーカーは残業をやっているが、これはアメリカ向け輸出のためである。

次に、中近東向けプリント輸出が伸びており、このため、日本輸出入銀行の延べ払いに対する資金を増やしています。出ているものは、鉄道、港湾の建設、海水を真水に変える設備が売れている。

今年は史上最高の629億ドルの輸出が出来ると思われる。現在、外貨保有高は140億ドルあり、国際収支が非常に明るくなっていることはよいことだ。ドルが入れば日本銀行に売り、民間に円が流れてきて金融が緩和する。景気がよくなるとは、操業度が高まることで、現在日本の操業度は75%、これが85%になった時好景気といい、95%になったら過熱です。

しかし、自動車、カメラ、テレビだけよくなったのでは、日本の輸出はGNPの15%にしか当たらないから、124万人の失業者に仕事を与えなくてはならない。そのために予算規模が大切。51年度の予算案は一般会計24兆2千億円、財投10兆円、合計34兆2千億円という驚くような金を使うことになり、購買力を刺激する。この中で一番大きいのが公共土木事業で、早くもセメントは完全に立直り、非鉄金属もよくなってきた。電気鋼は1月末までは1トン32万円だったのが40万円になった。

資本主義社会では、経営の力は資本である。日本ではいま、自己資本は15%しかない。85%は借入金です。不況の時、つぶれる会社は自己資本のない会社だ。借入金がなければ金利を払わなくてもよい。自己資本比率の高い会社はパイオニア52%、松下電器44%、トヨタ自工39%で、一流企業は40%ある。ドイツは40%、アメリカは60%で企業倒産は少ない。自己資本の蓄積に力を入れて貰いたい。

秋になると、もっと金融は弛み46、7年の状態となる。金融が弛み、予算が大型化、輸出がよいから三拍子揃って景気は必ず直る。しかし、足を引張る材料として政局不安と春闘がある。

49年の春闘は33%の賃上げ、50年は13%で、2年間で46%の賃上げだったが、小売価格は2年間で30%し

か上っていない。このためコスト高で、原料高の製品安ということになっている。今年の春闘をどれだけにするかが大問題である。高橋亀吉、下村治両氏は0%説、経済企画庁は9%説、賃金センターの金子氏は12%説であるが、私は、中小企業では5%ぐらい、大企業では9%ぐらい、平均して7%ぐらいが妥当と思う。でないと、労務倒産になる恐れがある。

日本では終身雇用型、年功序列型で簡単に首を切れないので、130万人ぐらいの過剰人員を抱えている。慈善事業をやっているようなもので経営者の頭の中は火の車です。この際、過剰人員を整備して小教精鋭に徹し、高能率、高賃金にすることです。

ロッキード問題は、天の試練である。コーチャン氏の云うことを全部信用するのは間違いだと思うが、もし不幸にして本当に貫った人がいれば、涙を振って馬しよくを切らねばならない。仮に権力のある人だったら自民党内閣が分裂し、三木内閣が倒れるか、粛党するかだ。2、3カ月は政局低迷が続く。三木内閣になっていたのは、自民党として不幸中の幸だった。

本予算の通過は遅れるが、単独審議は慎むべきであり、野党の意見も十分に聞くべきである。野党にお願いしたいのは、ロッキード問題も大切だが、早く予算を通してほしい。

安定成長とは成長率が10%以下の時にいう。安定成長になった理由は、発展途上国の追上げ、これらの国の賃金が安いので軽工業品が輸入されてくる。生糸、絹織物の輸入を規制しようというが、日本は貿易立国、自主貿易でなければやっていけない国です。外国の低賃金に勝てない中小企業に対して、中小企業事業転換臨時措置法をこの国会に提出する。これによって、国民金融公庫、中小企業金融公庫、商工中金は転換業資金5千万円まで出す。何に転換すべきか解らないところに中小企業の悩みがあるが、その解決に①時代の流れをみて社会的要求の多いもの②付加価値の高いもの③高級品化を図ることである。

来年の大きな課題は付加価値税である。公債はすでに15兆円であり、来年3月には22兆円になる。金利は8%であるから年間1兆7千億円の利子を払わねばならないが、これは税金です。金利のかからない金は付加価値税であると大蔵省は考えた。欧州は70%は間接税で30%が直接税で、日本は70%が直接税です。しかし、不加価値税をかければ①手続きが面倒②公平な課税が出来るかどうか③物価が上がる。経団連は賛成、中小企業は反対です。付加価値税をやる前に行政整理をし、公団、事業団を整備すべきです。

景気は必ず下期によくなり、52年末まで明るい、53年ぐらいから生産過剰になり再び不況になる。20%以上の売上げ増の目標を立て達成すべきである。

〔労務改善補助事業実施結果について〕

昭和46年度当集団が国の労務改善補助事業の指定以来5年間、労働力の確保を目標として求人定着対策を事業の根幹とし、労働条件の整備、社員教育等の事業を実施してまいりました。求人、定着対策、労働条件の整備改善に関する座談会、研究会等を6事業、調査事業13件、また全組合員の皆様へ提供した出版物は月刊誌毎月1冊と単行本12冊を参考資料として配布いたしました。

与えられた紙面の都合上、実施した全事業を発表することが出来ないで、今後社員各位を参加せしめられるご配慮のご参考として教育事業のみを掲載いたします。補助事業は終了しましたが、社員教育は引き続き継続事業としてもっとも重要であると同時に極めて困難ではありますが、私たち自らの姿勢を正しくしながら長期的展望に立って取り組んでゆきたいと思っておりますので、今後一層のご助言とご協力を賜るようお願いいたします。

労務委員一同
労務担当者

研修教育の回数及び受講人員数

参加企業 延 345社		
管理職	10回	281名
中級	1回	21名
一般	6回	188名(男40% 女60%)
女子	6回	384名(2月12日の分は未知数)
新入	7回	358名
計	30回	1,232名

教育内容の大別

管理職	— 専門知識、能力開発
中級	— 教養
一般	— 教養、能力開発(営業部門)
女子	— 教養
新入	— 職業人としての知識、教養、人間成長過程における修養

教育事業 ○印は実施結果概要をまとめて報告書として参加組合員へ提供した分

年度	事業の名称	実施期日	場所	参加人員	講師名	内容
46	新入社員研修会	4月9日～11日	白山青年の家	男 35		県主催に参加
	女子社員研修会	9月11日	問屋町会館	148	電報電話局 永田営業課長 事務局 大橋	「電話のマナーについて」 「職場におけるエチケット」
	男子中級社員研修会	7月20日～21日	白山青年の家	21	県児童会館長 山崎 利一 高井製作所 高井 社長	「職場における人間関係のありかた」 「これからの社会をどう生きるか」
	幹部研修会	5月13日～14日	北国銀行 山代保養所	29	北国銀行問屋町支店 門口支店長	「業績向上とチームプレー」
47	○ 男子新入社員研修会	4月14日～16日	白山青年の家	43	金沢工大 市村 教授 県教育委員 中野己之吉 津田駒工業 西田 部長	「職場の人間関係」 「青年はどう生きるか」 「職業と人生」
	○ 女子新入社員研修会	6月9日～10日	白山青年の家	67	金沢工大 市村 教授 事務局 大橋	「職場の人間関係」 「社会人としてのエチケット」
	女子社員研修会	11月27日	問屋町会館	76	県婦人少年室 浜礼子室長	「職業婦人としての心構え」
	上級中級 TAD強化合宿訓練	4月20日～23日	問屋町会館	18	JNCチーフ 原田、植松、北村	「マーケティング時代における営業幹部の任務」 「第一線営業部門の組織と運用」 「有能営業マンの発見とその戦力養成法」 その他
	○ 営業幹部 TAD強化合宿訓練	4月26日～29日 6月19日～22日 7月23日～26日 3回実施	同上	16 21 18		同上
	○ 営業マン TAD強化合宿訓練	8月2日～5日 8月10日～13日 11月6日～9日 3回実施	同上	21 17 21		「変革時代のマーケティング」 「セールスマンの任務」 「能率的販売活動とそのカンどころ」

年度	事業の名称	実施期日	場所	参加員数	講師名	内容
48	○ 新入社員研修会	4月10日～11日	白山青年の家	89	修養団関西会館 中山副会長 不二プランナー 諸川 氏 岐阜県婦人少年室 室長 川島利子 事務局 大橋	「童心行、人生句読点」 「人間関係、話し方」 「職業人としての心構え」 「職場のマナー」
	○ TAD 経営者合宿訓練	10月22日～24日	問屋町会館	10	JMCチーフ 原田 造 植松 純人 田中 明則	1.方法論の研究 2.現状を考えながら問題点を提起し、結論を与えぬ
	女子社員研修会	11月12日	同上	54	県近代文学館 新保 館長 榎村支店長 清水 勇	「女性の魅力について」 「写真の撮られ方」 スライド映写 「職場のチームワーク」 「職場の誤解」
	労働問題講演と座談会	50年 2月26日	同上	46	県経営者協会 田中 専務	「県下の労働情勢について」 座談「週休2日制について」
49	○ 新入社員研修会	4月16日～18日	白山青年の家	90	県婦人少年室 橋爪 室長 県児童会館 山崎 館長 金大助教授 出雲路 氏	「職業人としての心構え」 「職業と人生」 「人間関係と言葉づかい」 (欠講につき代りに労務担当)
	女子社員研修会	5月22日	問屋町会館	68	MRO製作部長 金森千恵子	「職場における人間関係」
	労務管理講習会	6月26日	同上	48	法政大学 青木 教授	「労働時間管理について」
	一男子一話し方教室	9月24日	同上	29	不二プランナー 諸川 満	「話し方の基本について」
	一女子一話し方教室	9月27日	同上	39	同上	同上
50	○ 新入社員研修会	10月11日～12日	白山青年の家	21	金沢ヘルスセンター 松本 社長 スズケン金沢支店 堀 支店長	「外国を旅して日本を見る」 「反省と前進」
	賃金管理講習会	10月21日	問屋町会館	41	関西大学 川野 教授	「中小企業に視点を置いて(体系管理、水準管理)」
	○ 新入社員研修会	4月8日～10日	国立能登青年の家	61	北国出版社 芳井 編集長 県教育センター 矢追 課長 珠算塾 名畑 塾長 事務局 事務担当	「社会人となつての心構え」 「職業と人生」 「珠算の必要性」 「人間関係と言葉づかい」
50	○ 新入社員研修会	6月27日～28日	同上	30	鶴来町社会教育課 谷口 課長 榎村 清水支店長 金沢機工 井上 社長	「若い力が明日を作る」 「未定」 「企業にとって不必要な人間像」
	中小企業経営問題研究会	8月21日	問屋町会館	34	中小企業問題研究所 堀越 所長	「低成長時代の中小企業経営について」 「労務管理の考え方転換」
	女子社員研修会	10月15日	同上	38	県婦人少年室 坂井 室長	「職業婦人として生きる道」
	電話教室	11月11日	同上	61	金沢電話局 浅尾 係長	「電話の応待」 —実技指導—
女子社員研修会	2月12日	同上		県社会教育センター 道端副館長	「職業人としての女子の生きたかた」	

女子社員研修会

職業人としての
女性の生きかた

去る2月12日問屋町会館ホールにおいて県社会教育センター副館長道端氏を講師として女子社員研修会を開催した。

女性の生きかたとしてどんなものがあるか、教育の効果としての尺度は何であるか。知識の豊かなもの知りと言われる人、この場合の尺度は知識であり、またあの人には大学卒だ。この人は高卒だと言う。この場合その人の教育を受けた期間を尺度としている。ほんとうの意味の教育の効果測定の尺度とは、他人のためにどれだけ考えることができるかによって定まるのではないか。昨年小松市の山間にある生徒数10人余の小学校を訪ねた折、担任の先生から某生徒の書いた「だらな先生」と題する作文を見せてもらった。その内容は当日の給食が配給先の都合で出来ないということ、先生が当日の4時間が始まる直前まで忘れていて、生徒に知らなかったのでは誰も弁当を持たなかった。先生は生徒の前であやまるとともに、昼食にはおいしいパンを緊急手配してパンを食べさせた。知らせておくことを忘れたばかりに、何べんもあやまってパンを買ってもらい、ぼくらは困らずにパンもうまかったが先生は損をした。だらな先生やという要旨であった。人はすべて自分の失敗を何とか正当化しようとするものだが、失敗を素直にあやまって、相手に迷惑をかけないように考え努力することが大切でないか。

その他事例を2、3挙げて自分のことだけではなく、相手のために考えることが職場においても家庭においても大切である。

(要旨文責務担当)



近代化研究会

2月定例会



今月の定例会はMRO東芝市場ジョッキー担当のアサヒ装設株式会社、社長山本基宗先生を迎えて2月16日に開催された。

先生の話は真剣な中にも、実に歯切れの良いジョークが飛び出し、私達を話に引き込んで離さない、実に話術に富んだ人である。講演の一部を紹介するとセールスポイントの中から1つ、「物を売込む時は、先ず自分の会社を売り込め、又その時に自分の会社の商品を最高だと売込む事は控えよ。又相手がわかりにくく理解出来ない話題は極力避け、半分は相手の知識の中に有ることを話題にせよ。それから相手の食い付くものを必ず話題の中に入れ、商談を完成させよ」又、もう1つ「関東と関西では、販売方法に地域差があり、関東ではより付加価値の高い品物を作り、商売人の面子や肩書を大事にし、関西では利益が先行し、ずっと現実的である。北陸3県については、富山は同じ品物なら少しでも安い物を求め、初商いとか肩書を重視しない。福井は同じ品物でも必ず、2社か3社の品物を比較検討し、且値段の安い方を選ぶ。金沢の商売は品物より売手を信用しがちで、人と人との関係を重視し、知人の紹介による商いが多い。と言う話しや、自分の経験した倒産会社の跡始末についても、普通聞く事の出来ない貴重な体験を語って下さった。その中に会社の成長している時は、事故、横領が多く、平穩無事な時は余り進歩していない。立派な社訓の有る会社は、そこが弱いとか、社内に対して外部からの刺激を与えよ、社長はその会社の鏡である等々の実践論。又日本人の行動形式の中から、1人立ち出来ないことなどに触れ、「人間がパニックに対して動く商売をすれば利益が有る」と言う集団心理の弱点をたくみに利用する話。又自社では1ヶ月の売上＝資本金＝1年間の純利益と言う公式を実践している等有意義な講演であった。

華やかに春のスタート 繊維同業会

金沢問屋センター繊維同業会では、石川県、金沢市、金沢商工会議所の後援で、3月4、5日第17回春の繊維まつりを、第1会場は会館2階ホール、第2会場は参加各商社で開きました。石川県をはじめ富山、福井、東北、北海道の小売業者を対象に行っているもので、本年は景気の上向きも徐々ながら、みられるようになり、新入学シーズン、観光シーズンを迎えて、春物は好調な動きが見られました。

第1会場では、参加商社出品のオリジナル、特選商品が展示され、人気を集めました。

呉服、寝装品、綿布、洋反、紳士婦人服地、子供服、洋品雑貨などの新製品ばかりで、呉服は、古典調の中に現代的センスを織り込んだ商品が多く、加賀友禅は、2枚目の紋付きとして色留めそでの需要が増加し、クリーム、ベージュ系の色柄に入気が集中していました。

婦人、子供用品では、白、ブルー、ベージュ系の色合いが中心で、明るい色彩の商品に、人気がありました。素材は、一時流行いたしましたニットが影をひそめ、綿、合織や、合織のジョーゼット、ボイルが歓迎される様になって来ました。紳士服では、ベージュ、グレー、ブルーが流行のきざしをみせ、無地やストライプ系の商品に人気があり、ヤングスーツが非常に売れていました。

期間中は、好天に恵まれ、お得意様の出足も良く参加商社34社の売上は約15億と、好調な繊維同業会の春のスタートでした。



経済は人なり

相生株式会社
社長 小阪 誠一



「人生はあたかも航海のごとし」といわれます。船の航海は皆目的の港へ向って、航行致します。或る船は横浜へ、或る船は長崎に、又或る船は外国に向って行く、それぞれ動機、目的があって航海をしているのです。同じく人間社会においても、それぞれの希望と目的に向って生活をしているのであります。或る者は実業家、或る者は政治家又教育家等と目的は人によって相違があるわけです。しかし人生に於いて如何なる人でも、共通一貫した希望があります。それは常に自分自身は勿論のこと家族、家庭の安心と平和と幸福であると云えます。これが人生の究極の目的でなければなりません。この目的達成のために、学問、知識、金力、権力、職業等が必要になりますが、以上の条件は人生々活達成のための手段ではあるが、それ自体が人生の目的ではないと思われます。

昔は名誉を重んじ、物質を軽んずる弊がありました「武士は食わねど高揚子」「江戸っ子はよい越しの金は持たぬ」「男子意気に感ず」とか云うようなことで、物質を扱うもののことを士農工商といって、商工人を階級の下においたようです。外国でもその反動として起ったのが物質主義の思想で、欧米では特に物質万能主義から資本主義経済が生れ、物質が人間を優先するような社会に至ったのであります。全く人間が物質に支配されるような状態に至つたのが、現代のように思います。人間の価値観は段々と低いものになり、金銭、物質のために命を縮める人もあり、又金力、権力を得るために国家、社会又は肉親をも顧みずといった人もあり、ただ人間関係が物にのみ結ばれるようになり、その結果は、ついに失敗と滅亡の道を迎えるに至ります。

人間実生活は物質生活と精神生活から成り立って居り、この二つが満足を得ることによって始めて人生の目的が達成されるので経済とは生産と分配であるといわれます。経とは治めるといい済とは救うとなり、物質は必要ですが、物以上に人間性を重んぜねばなりません。所謂人間の幸福と云うことを考えて、物を扱わねば、その物は人間の用をなさないであります。人は天地の間に生存するものですから天地自然の法則に従わねば完全なる生活をする事はできないのです。種を蒔く時にも時期、場所、方法があるように、春蒔く種を、秋に蒔いても芽はでません。人間の実生活にも一定の法則があり、その基は経済と道徳は一体で即ち物心一体でもあり、健全なる肉体には先づ健全なる精神(心)がやどるといいます。人間ありて事業あり、人間なき所に事業なく、政治も経済も法律も全て人が作り動かすのであり、自然現象以外の社会現象は全て人間が形造っているのですから、人間実生活の原点は先づ人心の開発、人造りであります。